



全体研修

地域づくりで役立つ

目標設定の仕方

生活支援コーディネーター業務で成果を生み出すために

14:00 事業実施背景・概要説明

- 14:15**
- 東京ホームタウンプロジェクトとは
 - 地域づくりにおける目標と成果の考え方
 - プロボノとの協働の有効性 - 事例紹介 -
 - 実践に向けて～今年度プログラム紹介～

認定NPO法人サービスグラント 嵯峨 生馬 / 株式会社エンパブリック 広石 拓司

15:20 質疑応答

15:25 終了

----- 休憩（5分） -----

15:30 支援プログラム説明会

16:00 終了 ※～16:30まで、任意参加での個別相談会

住民主体の活動を進めるために



empublic[✿]

広石 拓司

hiroishi@empublic.jp

地域包括ケアシステム

病気になったら・・・

医療



介護が必要になったら・・・

介護



在宅系サービス
施設・居宅系サービス
介護予防サービス

住まい



地域包括支援センター
ケアマネージャー



生活支援コーディネーター

いつまでも元気に暮らすために・・・

生活支援・介護予防

日常生活圏域を
単位として想定

高齢者の暮らし
を支える地域を
守り立てる

地域の人たちの力



サークル・ボランティア・NPO・町会・自治会・老人クラブ 等

高齢期の安心な暮らしに地域の力は不可欠



ご近所でよく知っている人が
定期的に声かけてくれる

好きな活動に参加していると、
お互いの状況・体調もわかる
困った時にも相談できる



状況・体調が変わっても、
周りの人が受け容れてくれ、
居場所や役立つことがある

地域包括ケアシステムの地域づくりの意味

□ 医療・介護・保健が連携して実施

サービス提供

+

□ 介護予防・生活支援**総合事業**

- ▶ 要支援者の悪化防止、介護予防
- ▶ 住民の助け合いの促進

地域づくり

サービス提供

困っている人を
(私が)助けてあげる

地域づくり

(community empowerment)

地域の人が自ら動く
のを支える

コミュニティ・アズ・パートナー

サービス提供

- Community as Client
助けてあげる対象



地域づくり

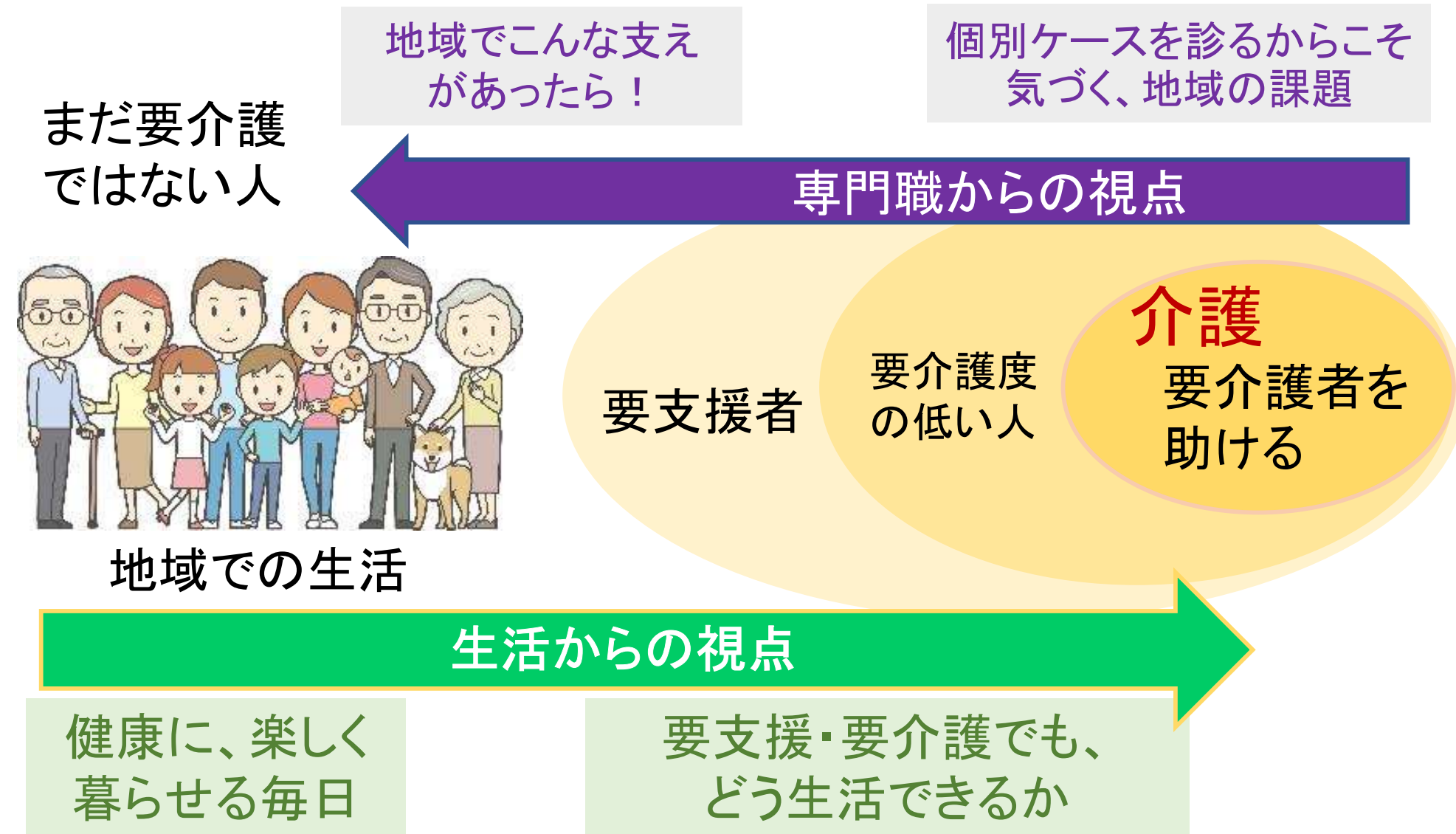
- Community as Partner
ともに地域をつくる仲間

- 地域の情報収集から**アセスメント**、計画づくり、実行までを住民と専門家が協働で行なう。
- 地域の状況、人々の価値観、歴史などコミュニティの基盤となっているものを重視する。

プロセス全体への参画

地域に寄り添う

地域を視る 2つの視点



専門職が結論を急いでも、 住民に準備ができていないと動けない

難しそう、
専門職がやって
くれないと...

理解

現状理解、
地域への視野

体験

活動を体験

対話・学び

良い体験を
どう続ける？

主宰
体験

自分達で運営
してみる

自己決定

自分達で
継続を決める



自主的な
サロン、
体操活動
を始めて！

いいね！
楽しい！

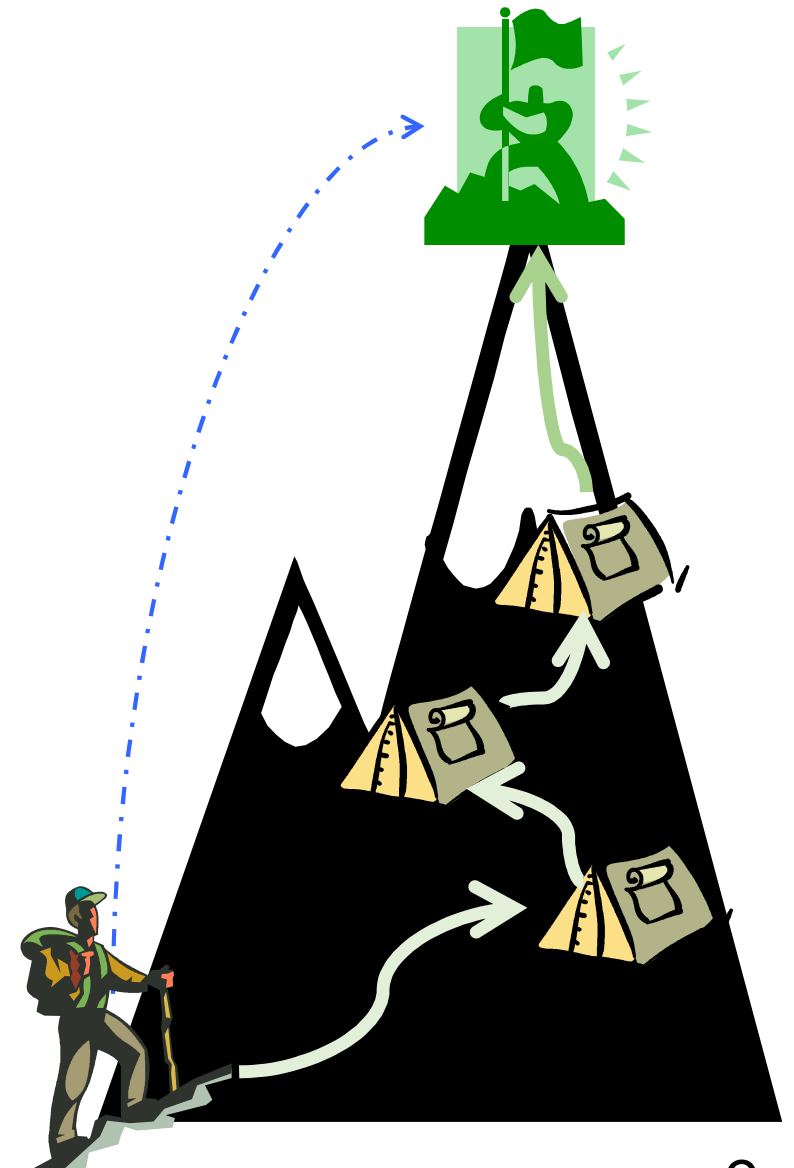
自分も
できる！

体験と学びを通して
ステップアップし、

主体的な担い手に
なっていく

プロセスを具体的に描く＝プロジェクト化

- 大きな目標、変化を実現するには
 - **中間目標が明確であることが大切**
 - 地域コミュニティへの参加
 - 主体的な介護予防・支え合い活動
 - 住民にとっては大きな変化！
 - ◆ **大きなゴール／日々行うことの連続のギャップに陥りがち**
 - 最終的に実現したい状況を描き、その実現への中間目標を描く
 - **中間目標＋期間を定め、活動内容と関わる人を明確にする**
- プロジェクト



東京ホームタウンプロジェクトとは

2015年より8年間実施してきた、東京ホームタウンプロジェクト。

地域福祉の担い手団体に不足しがちな、ビジネススキルや組織経営力の向上を実現するため、**企業人等による仕事の経験を生かしたボランティア「プロボノ」の活用を推進。外部人材の主体的参加により、地域福祉を活性化してきました。**

「プロボノ」とは？

ビジネススキルや専門知識を活かした、ボランティア活動を意味します。

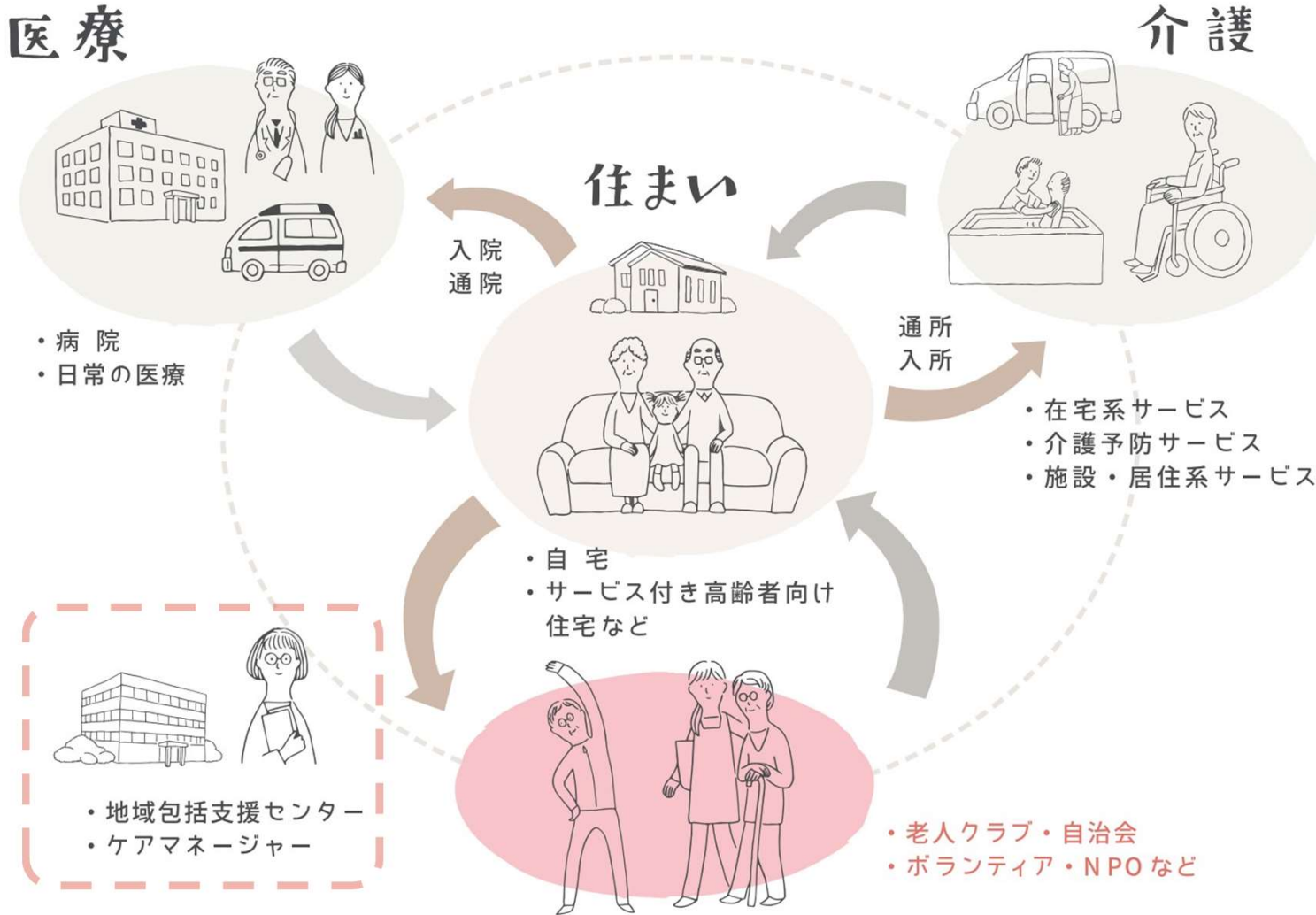
Pro	For	~のために
Bono	Good	善・いいこと
Publico	Public	公共的な

語源はラテン語のPro Bono Publico（公共善のために）という言葉です



東京ホームタウンプロジェクトによるプロボノ支援

生活支援活動、介護予防活動、地域の居場所など、
地域福祉の担い手である様々な団体等を支援してきました。



プロジェクト数

179件

(39区市)

支援先満足度

99%

※ プロボノの支援を受けて
「大変よかった」「よかった」と
回答した団体の割合

プロボノワーカー

※延べ参加者数

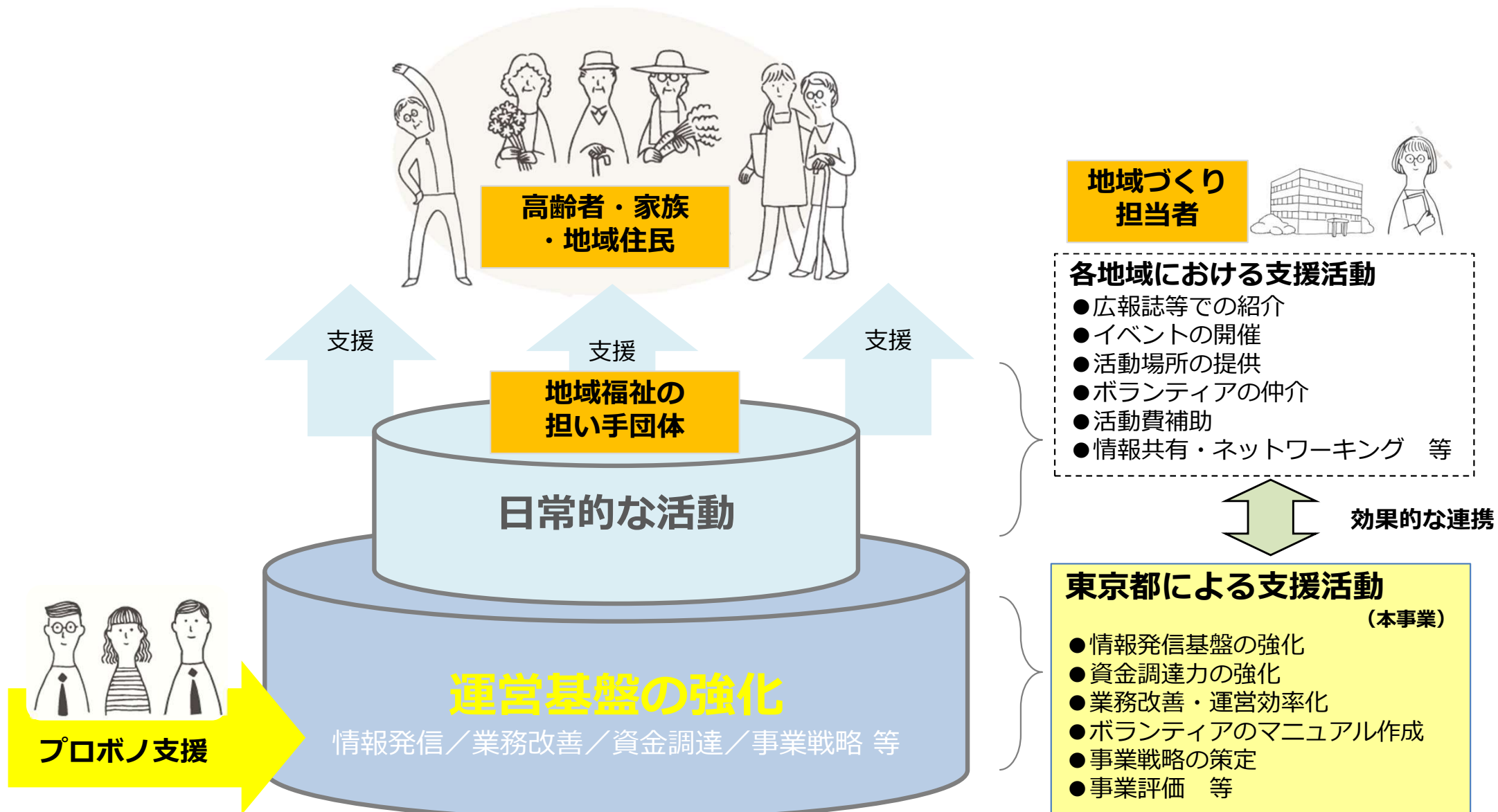
850人

(主に20代~60代の
社会人)

生活支援・介護予防

東京ホームタウンプロジェクトによるプロボノ支援

身近な各地域における既存の支援策と連携しながら、地域福祉の担い手となる様々な団体等に対して「**運営基盤の強化**」につながる支援を提供しています。



東京ホームタウンプロジェクトによるプロボノ支援

サービスグラントによるサポート

中間支援組織の コーディネーター



地域包括ケアの担い手団体



区市町村

生活支援コーディネーター
社会福祉協議会等
(及びサービスグラント)



プロボノワーカー
(企業人等ボランティア)

支援先団体の
募集・審査

支援先団体との
事前調整

チーム編成
立ち上げ支援

プロジェクトの
進捗管理



約1カ月で、活動の**基盤強化**に役立つ**具体的な成果物**を提供

オンラインツール活用、チラシ制作、運営マニュアル、アンケート活用、課題整理ワークショップ等

プロボノプロジェクトの様子



1チーム4～6名のプロボノワーカーが
支援先団体に役立つ具体的な成果物を提供

プロボノプロジェクトでの支援分野

プロジェクト型協働を通じ、組織運営上のさまざまな課題を解決することで、団体の可能性を広げ、活動を推進します。

ボランティアを
たくさん集めたい

もっと多くの人に
活動を知ってほしい

企業等と連携・協働したい！

[1] 情報発信・支援者開拓



広報や情報発信の重要性は感じていながら、十分な労力を割けないでいる団体を対象に、広報ツールの制作やオンラインツール活用をサポート。

[2] 組織運営



作業負荷の偏りの解消、代表の持つノウハウの可視化、事務作業の流れの整理など、組織運営上の課題を解決。

一部の人に作業が偏りがち！

マニュアルをつくって
ノウハウを共有したい

事務作業がスムーズに進まない

現状の取り組み・商品・
サービス等を見直したい

何から解決すればいいのか？
まずは棚卸をしたい

活動の意義を客観的視点で
伝えられるようになりたい！

[3] 事業戦略・評価



活動継続に向けた見直しのため、既存の取組の改善点の抽出や客観的評価等、各種調査・ヒアリングから検討材料を整理し提案。

令和4年度プロボノプロジェクト 成果物例

あなたのスキルを活かして

誰もが生きがいをもてる福生市をつくりませんか？

理事長の番頭として、団体運営や新規事業のボランティアを募集！！

ヒューマンケアは困っている人の居場所と役割を作り、人と人をつなげ、社会制度でくいられない人が置いとられ残されない社会をつくりたい

介護事業 **ボランティア活動** **教育活動**

- ・ デイサービスセンターあじさい
- ・ あじさい畑園 サース付き高齢者向け住宅
- ・ あじさいリハビリテーション
- ・ フードレスキュー
- ・ 認知症家族の会
- ・ 介護予防体操教室
- ・ カラオケ喫茶
- ・ ラブサポート
- ・ 発達障害の子供たちへの教育
- ・ 発達障害の子供を持つ親への教育
- ・ 市民活動講座

こんな人に来てほしい！！

- ・ 福生市をこんな街にしたい！！思いをお持ちの方
- ・ 周りの人と協力するのが得意な方
- ・ 書類の作成や団体の会計が得意な方

ボランティアスタッフとしてお手伝いいただけます

裏面の活動にお気軽に参加を！または042-513-0712まで

チラシ制作

支えあい、楽しく元気に活動できる団体です

仁寿会は、杉並区内で活動している団体で、60代から90代までの会員が楽しくサークル活動を行っています。杉並区内で60歳以上の方ならどなたでも入会できますので、ご参加お待ちしております。

いつでも見学受付中

初心者でもOK!

～参加者の声～
サークルがきっかけで入会し、仁寿会という団体を知りました。入会して1年がたちますが、地域の情報などに預かることができ、地域に密着している会だと実感しています。

【サークル活動の紹介】

お花見会 【第1、第3日曜日 13:30-16:30】
お花見の会です。自由参加で楽しむ会合です。お花見の準備やお弁当も準備しています。

日曜会 【第1、第2、第4日曜日 9:00-12:00】
お茶会、音楽、日舞の会です。楽しくおしゃべりしながら、お茶の準備からデザートまでお楽しみいただけます。

レク大会(楽楽) 【第1、第3日曜日 2:00-3:30】
お茶の準備を見ながら楽しめるのでおすすめです。日曜会と同じようにお茶の準備からデザートまでお楽しみいただけます。

ダンス 【第1、第2、第3、第4日曜日 13:00-17:00】
習い事としてダンスを習っています。一度見に来て下さい。

ゲートボール 【毎月1回(金曜前夜)】
習い事としてゲートボールを習っています。初心者から上級者まで楽しく遊べます。

雑談会 【第1、第2日曜日 9:30-11:30】
雑談会を毎月2回開催しています。お茶を飲みながらおしゃべりして楽しむ会合です。

カラオケ 【第1、第2、第3、第4日曜日 13:00-17:00】
カラオケを毎月2回開催しています。お茶を飲みながらおしゃべりして楽しむ会合です。

ピンポン 【第1、第3日曜日 13:00-16:00】
試合形式でピンポンを行っています。初心者から上級者まで楽しめます。

文楽鑑賞 【第1、第2日曜日 10:00-12:00】
文楽鑑賞会を毎月2回開催しています。お茶を飲みながらおしゃべりして楽しむ会合です。

会員数：【2月】
会員数：8

【年行事予定】

4月 総会、花見
6月 天沼、井原、武蔵野地区3協会合同総会
7月 新田 盆会(団体2月)
9月 全国一斉清掃活動
11月 杉並いきいきクラブ連合会総会
12月 各地の文化祭
各地の文化祭
公民館(月2回)
おたしや連発(年2回)
地区ササキ(年2回)
地区レクダンス交流会(年2回)
世代交流(体育館)
運動会(体育館)

【お問い合わせ先】
ゆづり井原 (電話：03-3390-0672)
所在地：杉並区井原2-15-15 (調子バス「八蔵小学校」バス停南、セゾリアン杉並井原2丁目直向い)

【周辺地図】

人生、楽しく、元気に100年めざそう！

仁寿会

はじめに

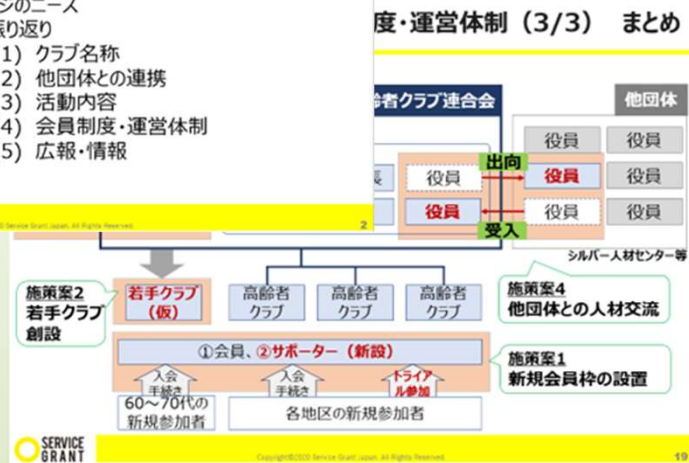
今後の少子高齢化の中で、「日本一高齢者に優しい街」、「高齢者が元気になるクラブ」となることは社会的にも非常に意義があることと思います。その点も踏まえ、新規会員増に向けての課題点の整理と、改善策の提案をさせていただきます。

1. 現状把握・課題整理
2. プロボノチャレンジのニーズ
3. ヒアリング会の振り返り
4. 課題点と提案(1) クラブ名称
課題点と提案(2) 他団体との連携
課題点と提案(3) 活動内容
課題点と提案(4) 会員制度・運営体制
課題点と提案(5) 広報・情報

おわりに



課題整理ワークショップ



2. 会議運営

概要 「いきいきシニア」の諸活動と事務全般を円滑に推進でき

実施時期

1. 年度計画・予算づくり

概要 年間を通して、何をやるのか、会員から集めた会費をどのように使うのかを計画し、充実した活動につなげます。

実施時期

2-1. 総会

(1) 前年度 送迎会
取りまとめ
(2) 次年度 予算案
取りまとめ
(3) 議案 (仮)
総会
(4) 議案

東村山いきいきシニア 事務局業務手順書 (2022/11/09,2.0版)

内容

1. 年度計画・予算づくり
2. 会報送迎
3. 総務及び役員管理
4. 会計
5. 総務管理・報告
6. 総会
7. 総会後の作成
8. 総会後の作成
9. 総会後の作成
10. 総会後の作成
11. 総会後の作成

設立

2003年 (平成15年) 7月 NPO認証取得

理事長

半澤 比呂美さん

主な活動

介護事業所を運営する傍ら、認知症家族の会、フードレスキュー、カラオケ喫茶などを展開。

応募時のお悩み

理事長と共に活動の軸を担う“番頭”を募りたい。多岐にわたる活動内容を伝えられない。



支援メニュー

パンフレット制作

成果物

多様な活動を分かりやすくまとめ、地域への
思いと共に発信するツールを制作。

支援のその後

団体内でデータを更新しながら活用中。



設立

1962年 (昭和37年)

会長

外山 克己さん

主な活動

区内の73の高齢者クラブの交流と会員相互の福祉推進を図り、研修やイベントを実施。

応募時のお悩み

新規会員が減少しており、特に団塊の世代の加入がない。運営側の高齢化にも不安がある。



支援メニュー

課題整理ワークショップ

成果物

新規会員増に向け、高齢者クラブ未加入の豊島区民、シルバー人材センターの方にヒアリングを実施。得られた情報を基に施策を提案。

支援のその後

提案を基に団体内での勉強会を開催し、一つずつ検討中。SCによるサポート体制も構築。



はじめに

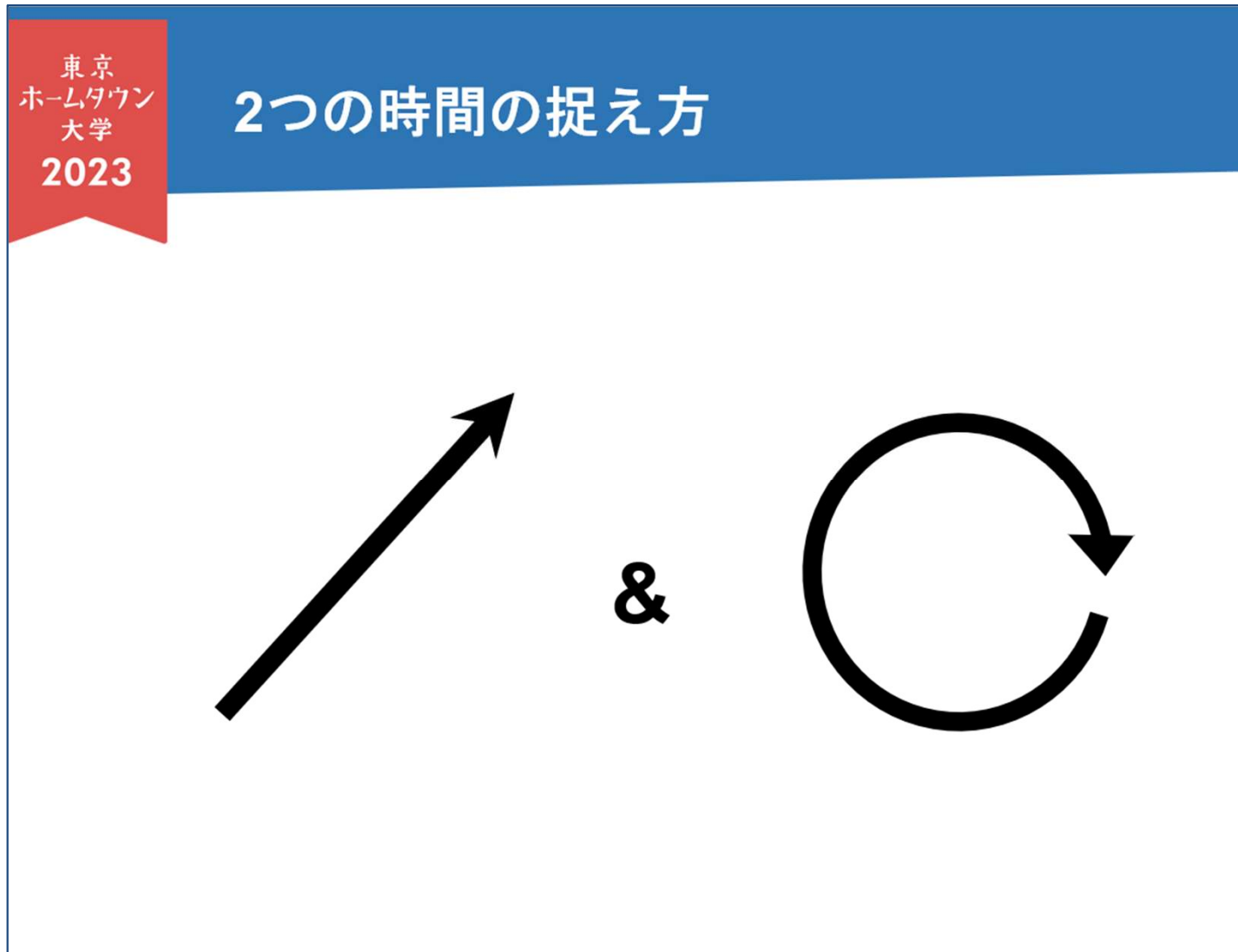
今後の少子高齢化の中で、「日本一高齢者に優しい街」、「高齢者が元気になるクラブ」となることは社会的にも非常に意義があることと思います。その点も踏まえ、新規会員増に向けての課題点の整理と、改善策の提案をさせていただきます。

1. 現状把握・課題整理
2. プロボノチャレンジのニーズ
3. ヒアリング会の振り返り
4. 課題点と提案(1) クラブ名称
課題点と提案(2) 他団体との連携
課題点と提案(3) 活動内容
課題点と提案(4) 会員制度・運営体制
課題点と提案(5) 広報・情報

おわりに

2

3) 会員制度・運営体制 (3/3) まとめ




東京ホームタウン大学2023 基調講義 東京都立大学 人文社会学部人間社会学科 准教授 室田 信一氏
「地域づくりの将来像を共有するために～目標を言語化する方法」投影資料より

「プロジェクト型協働」とは？

「プロジェクト型協働」とは、①目標や期間を定めて、②NPO・地域団体等と企業人・学生など異分野の主体とが、③課題解決や新たな活動創出などに挑戦することを指します。



※ 参考： 点線枠内が「プロジェクト」の定義に相当

「プロジェクト型協働」と日常の地域活動との違い

	一般的な地域ボランティア	プロボノプロジェクト
団体のニーズ	担い手・人手の確保	運営基盤の強化
支援期間	単発～永続的までさまざま	1～2カ月程度（最長半年）の期間限定
支援内容	日常的な活動や作業のお手伝い	具体的な成果物の作成・提供
支援方法	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 軽作業が中心で、複雑な経験・スキルを求めないものが多い※ ✓ 活動現場で対象者に直接的な支援を行うものが多い※ <small>※一般的なケースです。例外もあります</small>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 仕事で培った経験・スキル・知識等を活かした支援 ✓ 団体の代表者や運営メンバーとの打ち合わせが多い
効果・長所	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 必要な人材を確保できれば団体の活動が安定・活性化する ✓ ボランティアとして参加する側も地域とのつながりや自身の活躍の場が生まれる 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事務局・SC等がヒアリングを行うことで、団体の課題が整理される ✓ 外部の視点が入ることで、新しい発想が芽生えたり活動の見直しにつながる ✓ 団体がすぐに活用できる具体的な成果物が提供される ✓ プロボノワーカーがプロジェクト終了後も団体を支援する場合も
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域活動になじみのない人でも入りやすい参加機会の創出が求められる 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 団体には、成果物の継続的な活用を期待 ✓ SCによる後方支援も効果的

「プロジェクト型協働」によって期待される団体への効果

団体運営上の課題解決につながる、具体的な成果物が得られます

活動を広げたり、強化することに役立つ具体的な成果物の提供を通じて、団体の活動展開を応援します。

外部の視点を取り入れることで、活動の活性化につながります

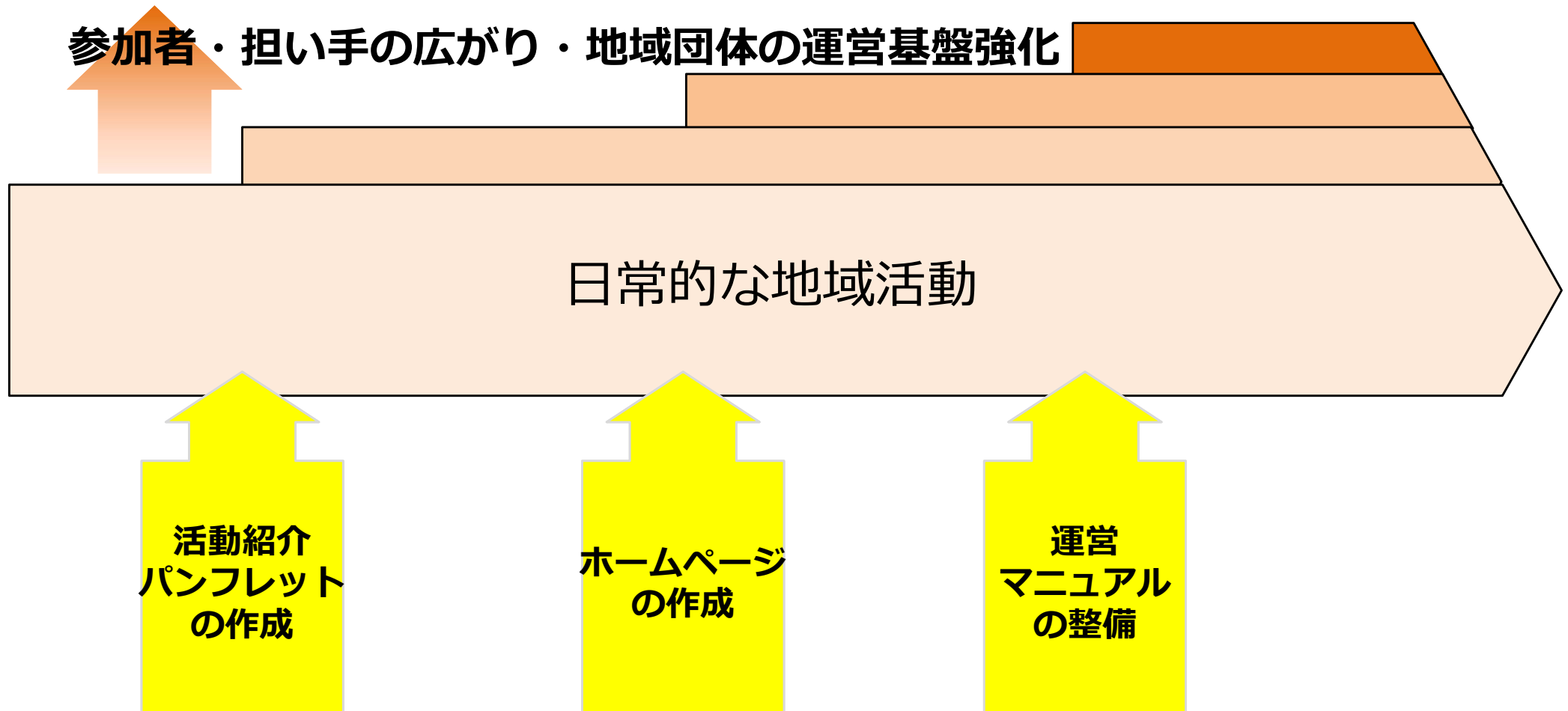
企業等で活躍する人材との交流を通じて、スタッフやボランティアの活性化のきっかけをつくります。

他地域の地域づくりの担い手団体の活動を知るきっかけになります

成果報告会等、東京の地域づくりを担う他地域の多様な団体の活動を知る機会も提供しています。

日常の活動とプロジェクト型協働とを効果的に組み合わせる

日々行われる継続的な地域活動に、必要に応じたタイミングで「プロジェクト型協働」を活用することで、活動のステップアップにつなげることができます。



プロジェクト型協働を活かすために、中間支援機関ができること

中間支援機関は、プロジェクト型協働の成果物を、団体の日常的な活動のさまざまな場面で活かしたり、学んだプロセスを他団体の支援に役立てることが期待されます。



「目的」と「期間」を決める

→成果が明確になる

→評価・改善を繰り返せる

+ aの効果

- ・新たな担い手が参加しやすくなる
- ・モチベーションを保ちやすくなる

地域への参加者と担い手を増やすために

現状の課題

住民活動の
担い手不足



参加できて
いない人



参加を促し、
担い手を
増やしたい！

目指したい状態



地域参加する人が増え、
活動する人と出会い、
仲間になる！

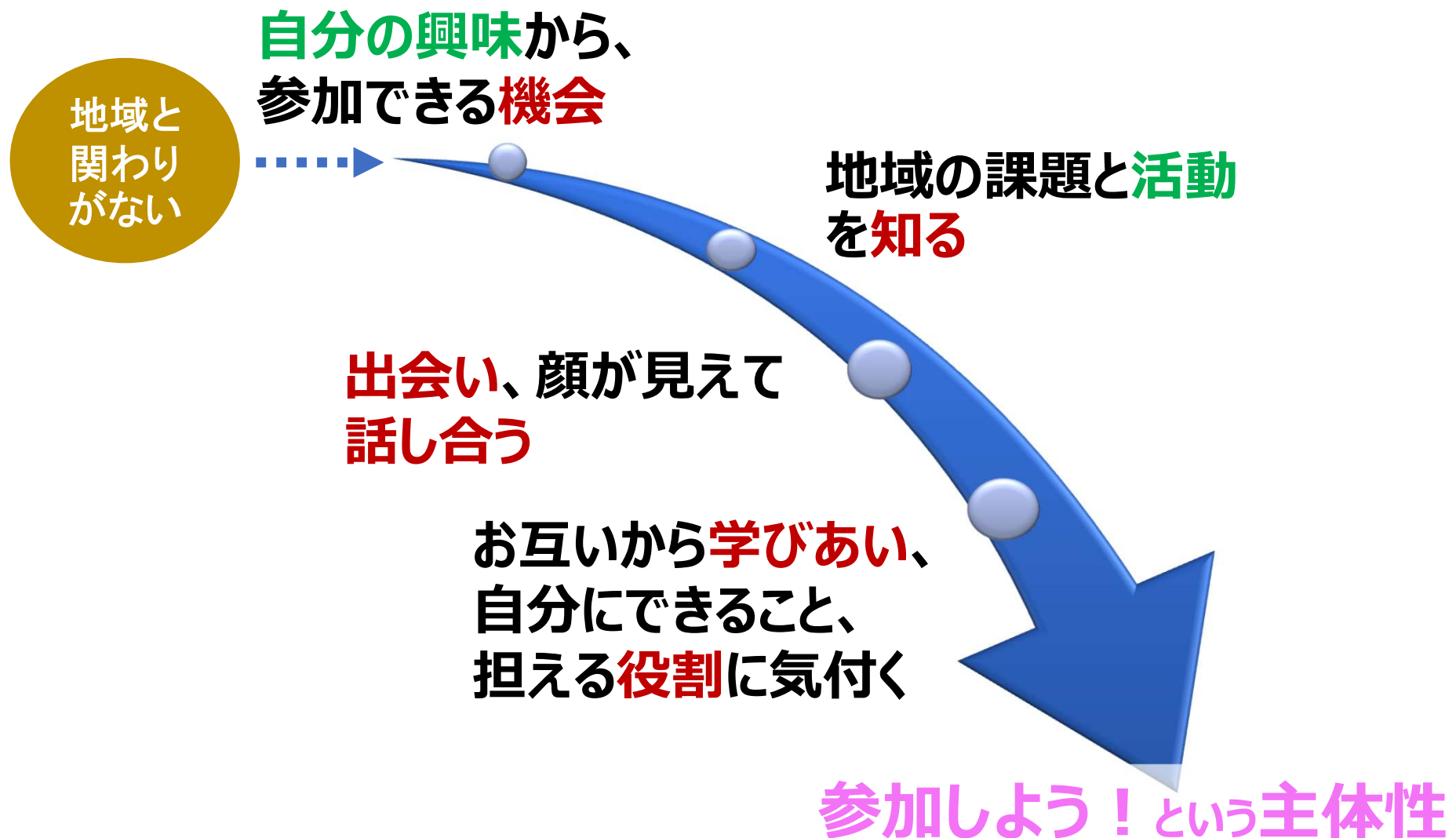


現状と目指したい姿のギャップから
変化のプロセスを描いて進める

自分でできると認識し、自分で決めるから動く

- 地域の課題・活動について最初は多くの人が**他人**事
 - ◆ 何が起きているのか、**現状を共有・理解**し、
 - ◆ **なぜ**必要なのか、自分なりの理由で納得し、
 - ◆ **自分なりの**考え、好み、工夫を話すことができ、
 - ◆ それを専門家・活動家が**聴き、評価**してくれ、
 - ◆ 「**自分もできそう**」と思うことができ、
 - ◆ するか・しないか、**決定権を委ねられた**時に、
- 「**自分で決めた**」と思えて初めて、動き出せる！

参加へのステップを組み込んだ場づくりを



令和5年度 6月以降の地域づくり担当者向けプログラム (予定)

研修プログラム

ケース勉強会 (全3回/6月・9月・12月予定)

ケース勉強会では、実例から地域の人材との協働のヒントを学び、参加者同士での共有を行います。

実践プログラム

実践プログラムでは、中間支援機関の地域団体支援をプロボノ等によりサポートします。

「**地域団体の課題を解決したい**」例) チラシ作成、SNS活用、活動運営マニュアル

プロボノ支援伴走プログラム (2023年8月～11月)

「**住民参加型イベントを企画したい**」「**地域づくりの担い手を拡大したい**」

課題解決力“共有化”プログラム (2023年6月～24年1月)